



集合写真



パネリストで参加した松島会員

鳥取商工会議所青年部（以下、鳥取YEG）は、令和7年8月21日に行われた米子商工会議所青年部（以下、米子YEG）8月例会に参加しました。

本例会は、中国ブロックがいな米子大会に向けたリハール例会として開催され、政策提言に関するパネルディスカッションが実施されました。

「提言活動による地域の変化・成長」「YEGの提言活動における課題」「これからの地域社会に対してYEGが政策提言する意義」の3つのテーマでディスカッションが行われ、米子・倉吉・鳥取YEGから1名がパネリストとして登壇しました。

各単会・地域の多様な着眼点や課題を共有することができ、大変実りあるディスカッションとなりました。

中国ブロックがいな米子大会まで時間が迫る中、米子YEGの皆様の熱意を感じることができた例会でもあり、鳥取YEGとしても全力で支えてまいりたいと思います。

総務委員会 松島 新太郎

米子YEG 8月例会



フリースローを楽しむ会員



交流会の様子

鳥取YEG・津山YEG交流会
 『バーベキュー交流会』

2025年9月6日（土）、Globe Sports Dome（岡山県津山市大田512）にて「津山YEG交流事業」が開催されました。鳥取YEGからは約40名が参加し、津山YEGの皆さまと有意義な交流を行うことができました。

当日は、まずスポーツレクリエーション（フリースロー対決）で体を動かし、笑顔あふれる中でメンバー同士の距離を縮めました。

その後のBBQ懇親会や二次会では、単会活動や地域での取り組みについて活発に意見交換が行われ、世代や業種そして単会を超えたつながりを深めることができました。

津山YEGは令和8年度に中国ブロック大会を主管することが決まっており、鳥取YEGも令和12年度に決まっています。

そのため今回の交流は、互いに刺激を受けると同時に、将来の大会運営に向けて多くの学びを得る機会となりました。特に津山YEGの皆さまからいただいた温かいおもてなしは、私たち鳥取YEGにとって大変参考になるものであり、今後の活動に必ず活かしていきたいと感じました。

今回の経験を通じて得られたご縁や学びを大切に、鳥取YEGとしても外部との交流を積極的に進めながら、地域に還元できる活動を展開していきたいと思っています。

対外交渉委員会 委員長 西根 健太

鳥取YEGでは鳥取を盛り上げる方募集中!!

鳥取YEGは、地域を支える青年経済人の集まりであり、一緒に鳥取を盛り上げていただける方を随時募集しています。

次世代を担う立場として、熱意を持って一緒に頑張りませんか?!

鳥取YEGで出会う「縁」を「運」に変えて、企業と地域を活性化させましょう!

お気軽にお問い合わせください。

TEL:0857-32-8004
 （鳥取商工会議所青年部 事務局）



谷口 拓史 君
 （たにぐち たくし）
 事業所名 ㈱ASA 鳥取東
 所属委員会 ビジネス委員会



佐々木 芳美 君
 （ささき よしみ）
 事業所名 合同会社 cocoto
 所属委員会 ビジネス委員会

新入会員



山本 暁子 君
 （やまもと あきこ）
 事業所名 さかね
 所属委員会 政策提言委員会

鳥取 YEG 通信

TOTTORI
 YOUNG
 ENTREPRENEURS
 GROUP
 YEG

発行：令和7年10月15日
 鳥取商工会議所青年部
 広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信



鳥取商工会議所青年部
 会長 民野 泰稔
 株式会社 三協商会

令和7年度 会長あいさつ

秋空が澄みわたる、木々の葉も日ごとに色づきを増してまいりました。朝夕の涼しさの中に季節の深まりを実感し、秋祭りや地域の催しも各地でにぎわいを見せる頃となりました。会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より鳥取商工会議所青年部の活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る8月21日には米子YEGの例会に参加いたしました。今年10月30日から開催される中国ブロック大会「がいな米子大会」のシミュレーションを兼ねて行われたもので、中国ブロック大会・提言分科会の円滑な運営に向けた動線確認や提言内容の事前共有を実施いたしました。さらに講師からは米子市および鳥取県の現状についてご講話をいただき、鳥取・倉吉・米子YEGの代表者によるパネルディスカッションでは、それぞれの単会が取り組む政策提言について率直に意見を交わしました。こうした場を通じて、自分たちの活動を客観的に振り返り、他単会の取り組みから学びを得る、大変貴重な機会となりました。

また、9月6日には対外交渉委員会の企画により、津山の地で津山YEGとの交流会が開催されました。当日はフリースロー対決やバーベキューといった親しみやすい企画を通じ、終始笑顔に包まれながら互いの距離を縮めることができました。参加者の中には、初めて他単会と交流するメンバーも多く、新しい刺激を受け、単会の枠を超えて出会い、語り合い、共に楽しむ時間は、青年部活動の可能性を大きく広げる原動力であると改めて実感いたしました。

今後とも津山をはじめとした近隣単会との交流を積極的に進め、会員一人ひとりが新たな気づきや学びを得られる場を増やしていきたいと考えております。

さらに9月16日には、臨時総会および9月例会が開催されました。臨時総会においては、次年度会長に推薦された山根真君が満場一致で承認され、予定者として新たな一歩を踏み出されました。山根君のこれまでの活動に裏打ちされた確かなリーダーシップのもと、来年度の鳥取YEGがさらなる発展を遂げることを心より期待しております。

続く例会では、会員増強委員会の主管により日本YEG会長・小野知一郎様をお招きし、「地域・地域の永続的繁栄に向けてX YEG会員増強の重要性」をテーマにご講演をいただきました。その中で小野会長は、「現状維持の延長線上には衰退しかない」と力強く語られました。この言葉は、我々にとつて大きな警鐘であり、同時に未来への指針でもあります。人口減少や経済構造の変化など、地方が抱える課題は少なくありませんが、だからこそ地域に根ざし活動する私たち鳥取YEGが声を上げ、行動を起こすことが何よりも大切であると強く感じさせられました。

鳥取YEGは、仲間と共に研鑽を重ね、地域社会の未来を担う人材を育み、地域の活性化に貢献することを使命として歩んでまいりました。これからも「至誠」の精神を胸に、地域社会の発展と次代を担う若き力の育成に尽力してまいります。どうか今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



集合写真



日本YEG会長の小野様

令和7年9月16日（火）に鳥取商工会議所大会議室にて、令和7年度9月会員増強例会「地域の永続的繁栄に向けてX YEG会員増強の重要性」を開催し、日本YEG様、鳥取県連の皆様にお越しいただいた上、令和7年度日本YEG会長である小野知一郎様をお招きし、ご講演いただきました。

当日は、小野会長より、2050年には消滅可能性自治体数が800を超えること、さらに鳥取県の人口が153,000人減少し497,000人になるとの予想のもと、現状の延長線上には地域の未来はないと警鐘を鳴らされ、地域の全員が危機感を持ち、より魅力を増していく努力を本気でしていく必要があるとの見解を示されました。

また、「全ては必然・必要・ベストのタイミングで起こる」という考えのもと、全ての起こる事象を受け入れ、前向きに進んでいく姿勢や、「経営の本質は永続にある」という考えのもと、今だけ、自分だけという考えではなく、より社会全体に貢献できることは何か、永続的な仕組みは何か、次の世代により良い日本を手渡すためにどうすれば良いかを考えることこそ本質的に価値があり、地域や企業の永続につながる」と力強く話していただきました。

そして、地域に影響を与えるためにもYEGの会員増強は重要であり、会員を増やすためには鳥取YEGとしての理想や目標、ビジョンを定めること、そして、そのビジョンに向かって逆算し、今何をすべきかを考える必要がある。また、その理想やビジョンに共感する仲間を増やしていく姿勢が大切であるとのことをお話いただきました。

地域のこと、経営のこと、会員増強の話など、様々な角度からのご講演、大変勉強になりました。本例会での学びを活かし、鳥取YEGとしてより力強い活動をしてまいりたいと思います。

会員増強委員会 委員長 森本 剛

9月例会・臨時総会